

2010年1月4日～2018年12月20日の間に川崎医科大学消化器外科で胃癌の手術を受けられた患者さんへのお知らせ

「胃癌患者に対する術前の栄養状態および術後炎症反応が予後に及ぼす影響についての後ろ向き研究」

近年、がん患者さんにおいて栄養状態と癌の再発、予後との関連性が議論されています。一方、手術に関する体に対する侵襲の大きさと癌の再発・予後との関連性も注目されています。当院でもこれらの関連性を明らかにするために本研究を企画いたしました。

本研究により、胃癌術前の栄養学的介入がその予後を改善させるかどうか？ および過大侵襲を伴う拡大手術の意義、術後合併用の有無がその予後に及ぼす影響につき検討を行います。

#### 【対象および方法】

川崎医科大学で、2010年1月4日～2018年12月20日の間に胃癌の手術を受けられた患者さんが対象です。データは、匿名化され、個人情報外部に漏れる心配はありません。

カルテより癌のステージ、治療方法、治療効果、術前術後の栄養学的指標、予後などの治療に関連するデータを使用いたします。研究期間は、倫理委員会承認日～2022年1月30日までの期間です。

統計学的手法により、術前の栄養状態と予後、術後侵襲の程度と予後との関連性を調べます。

#### 【結果】

結果は、学会発表および論文化いたします。

#### 【情報の保存】

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学消化器外科学教室内で保存させていただきます。電子情報は、パスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は、施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

#### 【利益相反】

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適切に管理されています。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に利用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生ずることはありません。

本研究のお問い合わせ先

担当者:消化器外科学 特任教授 藤原由規

e-mail:yyfujiwara@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:086-462-1111(内線 26369) FAX:086-462-1199